case 39

平成21年度　採択団体

ほんまもんの『ものづくり』から『まちづくり』へ
三条通りを一つにつなぐ「京都三条花街道構想」

協同組合　京のほんまもん塾

代表理事　藤原（ふじわら） 義明（よしあき） さん

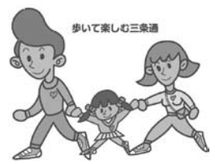
藤原義明さん

京都の食文化を見直そう

「京都の食文化を見直そう」と、京のほんまもん塾が結成されたのは平成16（2004）年のことです。通常、協同組合は、漬け物、和菓子、お茶など、業種別の同業他社で集まることが多いのですが、京のほんまもん塾は、「京都の食文化と地産地消」をキーワードに、「安心・安全のものづくり」の旗印のもと、食品加工メーカーを中心に、デザイナーやカメラマン、広告会社やコンサル会社、流通等、多岐にわたる異業種の集まりとして結成されています。現在、組合員数は48社、賛助会員を入れると84社に及びます。

これまでも水尾の柚子を使ったケーキ、京丹後さわらの西京漬けなど、会員相互のコラボレーションによるオリジナル商品の開発・販売に取り組み、各種セミナーやイベントの開催などの活動を精力的に行ってきました。

桜あられともみじあられ



三条通り―山科から嵐山まで―

今回、京のほんまもん塾が、応援ファンドの協力を得て推進させたのは、京都市内を東西に貫く三条通りを、「京都三条花街道構想」として、ひとつながりにとらえ、全体の復興、活性化を図るという壮大なプロジェクトのいわばキックオフにあたる部分、起爆剤的事業でした。

三条通りはかつて平安京の目抜き通りでした。現在でも西は嵐山、東は山科まで、京都市の骨格にあたる通りとして横に伸びています。ここに現在、嵐山商店街、嵯峨商店街、大映通り商店街、京都太秦繁栄会、京都三条会商店街、三条名店街商店街、三条小橋商店街、山科三条商店会、と大きく八つの商店街が存在しています。

このなかには周辺住民の日常を支えている庶民の台所もあれば、観光京都のメインストリートとして利用客も他府県や海外からがメインの繁華街もあります。位置づけも規模も異なるこれらの商店街ですが、門川京都市長が「これからは歩く京都観光を」と提言しているように、花街道構想では西から東まで、三条通りを歩いて楽しんでもらい、全体としてまちを活性化させることをめざしています。天神川まで開通した地下鉄東西線がある程度併走しているので、それぞれの商店街を歩き、部分的に地下鉄も利用して移動し、歩きながら見て、食べて、買い物をしてもらう。そこに花街道ブランド「ほんまもん」のこだわりの商品が並んでいる――。その商品の開発をすすめ、PRすることが今回のファンド事業への挑戦でした。

須知高校食品科学科

京都三条花街道オリジナル商品

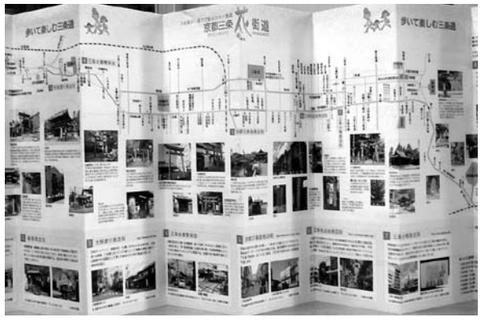
具体的には三条通りをイメージしたシンボルマーク、ロゴ、キャラクターの開発、花街道ブランド商品の開発、マップの製作などです。

すでに花街道ブランドで商品化されているものの一つがあられです。３年連続特Aが認定の京丹後コシヒカリを杵打ちし、琴引浜の塩を使って天日で乾燥。地産地消にこだわり、ものづくりの姿勢にこだわったあられは「春のさくら」と「秋の紅葉」の２種類です。

水尾の柚子を使った「柚子餅」も商品化の段階にきています。保津峡奥の秘境、水尾地域は柚子の産地であるものの、限界集落で高齢化がすすみ、収穫作業をする人がいなくなっている現状があります。そんな水尾を知ってもらう為の商品づくりです。花粉症に効くと言われる紅富貴茶を使用したお茶の飴、熱中症に効果があるとされる琴引浜の塩を使った塩飴も開発中です。

さらに「花街道ホットドッグ」は現在試作中です。このホットドッグには農業学校として明治時代からの歴史と伝統がある府立須知高校の食品科学科が付近の養鶏業とコラボしてつくる鶏肉フランクフルトの開発をすすめており、これを使用する予定です。

マップは菊全版半裁でジャバラ折り。三条通りが西から東まで見渡すことができます。このマップは今後、商店街のプロフィール部分を共通に、歴史、観光と祭り、イベント、川、隠れグルメ、鉄道、などの差し替えバージョンを作成することが決定しています。



京都三条花街道マップ

『ものづくり』から『まちづくり』へ

これまで商店街は単独で個々に営業展開していました。これらすべてを一つにくくることはできませんが、今回の「京都三条花街道」プロジェクトが動きだせば、低迷する商店街、小売り業を中心にした地域経済に一石を投じることになるかもしれません。

「三条花街道全体をたとえばヨーロッパのように四季の花で埋めるとか、島津の本社前を「ノーベル賞通り」と銘打って、芝生を敷き、京福電車を走らせる。電車が走ると噴水が上がるようにする。商店街の活性化と共にそんな景観づくりをイメージしています」と藤原さん。

地域から身近な商店街が姿を消し、マイカー前提の商業施設が一人勝ち、買い物難民問題が顕在化しつつある今日。活気あふれる商店街で、地産地消のほんまもんの商品を、昔ながらの対面販売で買うことができれば、世の中の流れは大きく変わるでしょう。

「これは社会運動です。そのモデルを三条花街道でつくることができれば、と考えています」。京のほんまもんは『ものづくり』から『まちづくり』へ、大きな夢に向かって歩みはじめています。

事　業　概　要

協同組合　京のほんまもん塾
http://www.k-honmamon.net/
代表：藤原義明
業種：食品加工、農業、物流、飲食、流通、企画、マスコミ、研究機関等の異業種組合
創業：平成 12（2000）年　設立：平成 16（2004）年
住所：〒 615-0814
京都市右京区西京極下沢町 8
TEL：075-325-6226　FAX：075-325-6227